

# 岡安証券

## ～注目・外株銘柄～

### (2020年4月)

#### 【米国市場・25銘柄掲載】

<新規(3月より継続)>

- P1 【クラウド】 アドビ(ADBE)
- P2 【クラウド】 サービスナウ(NOW)
- P3 【クラウド】 アトラシアン(TEAM)
- P4 【半導体製造装置】 ラムリサーチ(LRCX)
- P5 【大手製薬】 アッヴィ(ABBV)
- P6 【ITサービス】 IBM(IBM)

<継続>

- P7 【ハイテク主力】 アルファベット(GOOG)
- P8 【ハイテク主力】 フェイスブック(FB)
- P9 【ハイテク主力】 アップル(AAPL)
- P10 【ハイテク主力】 ネットフリックス(NFLX)
- P11 【クラウド】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P12 【クラウド】 マイクロソフト(MSFT)
- P13 【クラウド】 セールスフォース・ドットコム(CRM)
- P14 【5G(通信)】 キーサイト・テクノロジーズ(KEYS)
- P15 【半導体製造装置】 ASMLホールディング(ASML)
- P16 【半導体】 台湾セミコンダクターADR(TSM)
- P17 【半導体】 クアルコム(QCOM)
- P18 【半導体】 エヌビディア(NVDA)
- P19 【半導体】 ザイリンクス(XLNX)
- P20 【ストレージ】 ウェスタン・デジタル(WDC)
- P21 【医療機器】 インテュイティブ・サージカル(ISRG)
- P22 【フィンテック】 ビ ザ(V)
- P23 【金融】 S&Pグローバル(SPGI)
- P24 【防衛・宇宙】 ロッキード・マーティン(LMT)
- P25 【公益】 ネクステラ・エナジー(NEE)

(株価データ、株価指標は現地20年3月30日現在)

<新規>

- グラフィックデザイン/文書編集/マーケティング・ソフト大手
- 内勤業務の効率化支援のソフトウェア企業
- プロジェクト管理中心のソフトウェア企業
- エッチング装置の世界最大手
- 関節リウマチ薬が主力の米製薬大手
- 融合型クラウドでの巻き返しを目指す老舗ITサービス大手

<継続>

- インターネット検索サービス世界最大手
- 世界最大のSNS運営会社
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- 動画配信サービス最大手
- インターネット小売世界最大手
- ソフトウェア世界最大手
- クラウド専門の顧客管理ソフト最大手
- 電子計測器の世界最大手
- 世界の半導体製造装置の大手
- 世界最大の半導体製造受託企業
- スマートフォン向け半導体世界大手
- 画像処理半導体(GPU)開発企業
- PLDやFPGA半導体の大手
- HDD、フラッシュメモリーの業界大手
- 外科手術ロボットを製造・販売
- クレジットカード決済サービス世界最大手
- 金融情報サービス大手
- 防衛請負の世界最大手
- 環境配慮型の発電に特化する電力会社

社名 (ティッカー)

アドビ(ADBE)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

グラフィックデザインやマーケティング分野に強いソフトウェア企業。クラウド化に成功

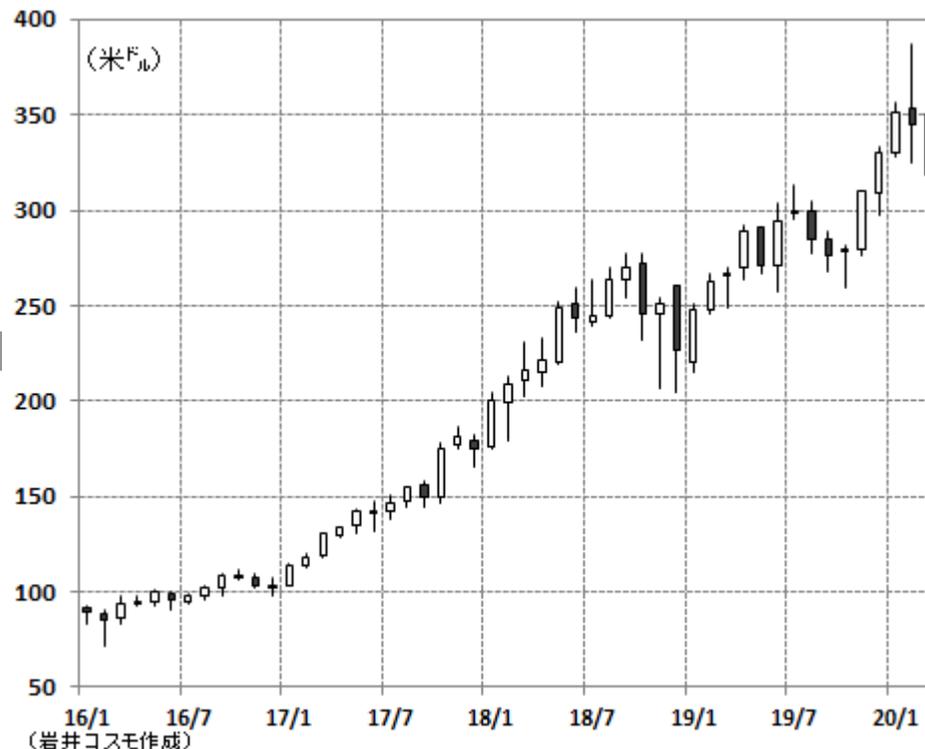
会社概要

画像加工/文書編集/マーケティング・ソフトの大手。身近な例では文書ソフト「PDFファイル」が有名。画像加工ソフト「フォトショップ」、「イラストレーター」等のクリエイター向けのソフトが売上の6割を占め、収益の柱。2009年にサイト閲覧解析のオムチュアの買収を機にデジタルマーケティング分野を強化、19年1月にマーケティング自動化ソフトのマルケトを取得。本社はカリフォルニア州サンセ、従業員数は22,634名(19年11月末)。

注目ポイント

□**クラウドビジネス転換の成功企業**: アドビは他社に先駆け2012年に従来のパッケージ販売からサブスクリプション(継続課金)制へ転換を図り現在、関連収入が9割を占め、営業利益率のV字回復も達成し成功した企業として知られる。サブスク方式はエンジニアによる日々の改良をソフトに反映したものがすぐに使えるほか、主要顧客のクリエイターのアドビソフトに対する信頼も厚かったこと等が成功の要因とされる。

□**新型コロナウイルスの影響に言及**: 同社は3月12日の決算発表で、新型コロナウイルスの影響について言及。サブスクリプション収入によって収益予想は立て易いとしたが、顧客である法人がマーケティングなどへの支出を控えると同社サービスにも悪影響が及ぶと指摘した。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	318.39 ( 03/30 )	実績PER	48.3 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	386.69 ( 20/02/20 )	株価売上高比率	13.2 (倍)	2018/11	9,030	24	2,840	31	2,591	53	5.20	0.00
52週安値(日付)	255.14 ( 20/03/18 )	PBR	14.7 (倍)	2019/11	11,171	24	3,268	15	2,951	14	6.00	0.00
時価総額	1,534億ドル 16兆5,304億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	<b>四半期業績</b>								
株価変化率(%)	15.3 (過去6ヶ月間) 19.5 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2019/Q1	2,601	—	695	—	674	—	1.36	0.00
		株主資本利益率(ROE)	31.8 (%)	2020/Q1	3,091	19	937	35	955	42	1.96	0.00
		株式ベータ	0.88 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

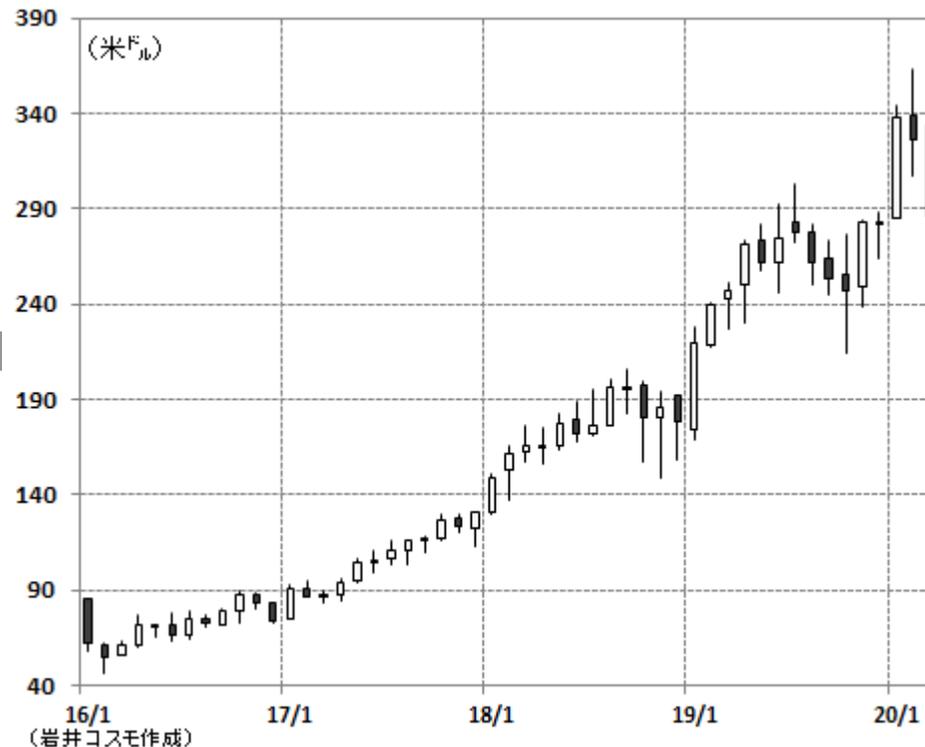
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、採用企業も世界で拡大中。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。地域別売上高(19年度)は北米66%、欧州25%、アジア・太平洋が9%。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は10,371名(19年12月末)。19年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する社内効率化クラウド**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、より効率的な業務の遂行が可能となる。クラウドのメリットを活かし、初期投資負担が軽く、経費節減と社内の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **契約企業数6,200社突破**：最近では上記ソフト以外に、人事や顧客支援分野等のソフトも提供、製品ラインナップを拡充している。契約顧客数は全世界で6,200社を超え、同社は米フォーブス誌の『2018年の世界で最も革新性のある企業』にも選ばれた。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	286.39 ( 03/30 )	実績PER	90.3 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	362.81 ( 20/02/19 )	株価売上高比率	15.4 (倍)	2018/12	2,609	36	-42	赤継	-27	赤継	-0.15	0.00
52週安値(日付)	214 ( 19/10/23 )	PBR	25.5 (倍)	2019/12	3,460	33	42	黒転	627	黒転	3.18	0.00
時価総額	544億ドル 5兆8,575億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	<b>四半期業績</b>								
株価変化率(%)	12.8 (過去6ヶ月間) 16.2 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q4	715	—	0.3	—	7	—	0.04	0.00
		株主資本利益率(ROE)	38.7 (%)	2019/Q4	952	33	29	10,156	599	8,435	3.03	0.00
		株式ベータ	0.98 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

**アトシアン(TEAM)**

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

**プロジェクト管理ソフトで成長する企業。クチコミに頼ったユニークな販売が特徴**

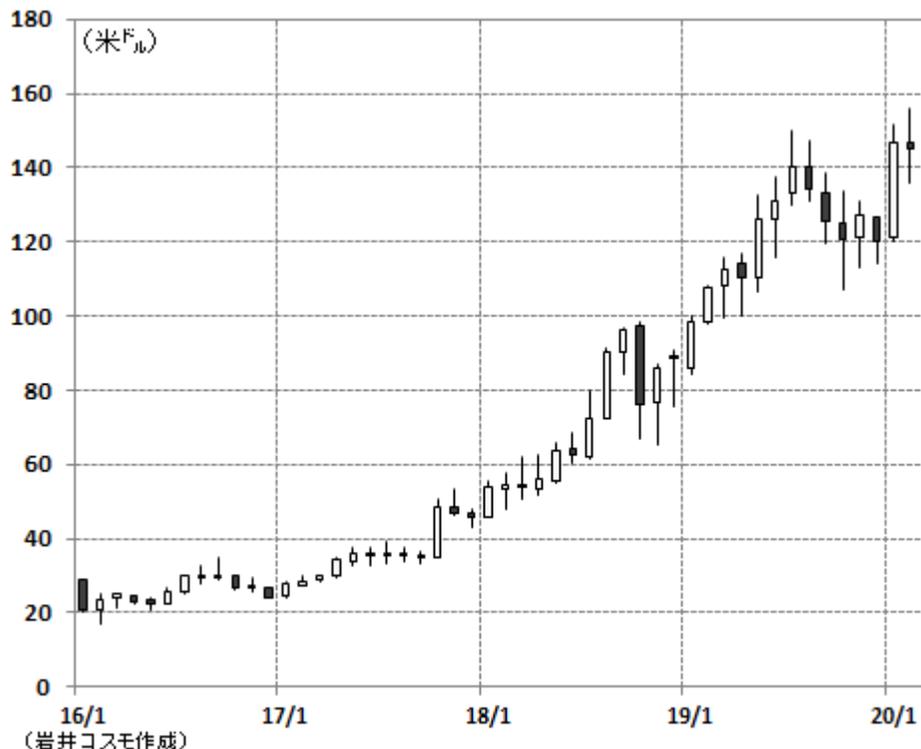
## 会社概要

2002年設立にオーストラリアの2人の大学生が創業した企業向けのソフトウェア開発企業。プロジェクト管理やコラボレーション等々の各種ソフトウェアを提供している。会社自体は英国で法人登記され、事実上本社はオーストラリアのシドニーにある。自社ソフトウェアの販売方法は、営業担当部署を置かずオンラインを通じた販売に徹して低価格化を実現させている点がユニーク(他方、提携先経由の间接販売も約3割ある)。

## 注目ポイント

□ **有名企業が利用**: 19年12月末時点のユーザー数は164,790。大口顧客にトヨタ、シスコシステムズ、バンク・オブ・アメリカ、リフト、ヘライゾン、NASA等がある。チームの行動計画やプロジェクト管理ソフトの「シラ」を中心に情報共有ツール、コラボレーションツール、顧客サポート支援ツール等を提供。

□ **販管費抑制・研究開発重視型**: クチコミの広がりにも頼った販売体制をとっており、営業部隊による積極的な販売活動を行っておらず、他社比較して販売・管理費用の対売上高比率が低く、研究開発費の対売上比が高いのが財務的な特徴。また、初期導入時に無償でスタートでき、有料版に切り換えてもらう戦略も実施。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	141.16 ( 03/30 )	実績PER	— (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	156.09 ( 20/02/19 )	株価売上高比率	24.1 (倍)	2018/06	881	42	-46	赤継	-113	赤継	-0.49	0.00
52週安値(日付)	100.3 ( 19/04/18 )	PBR	38.5 (倍)	2019/06	1,210	37	-63	赤継	-638	赤継	-2.67	0.00
時価総額	346億ドル 3兆7,333億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)	<b>四半期業績</b>								
株価変化率(%)	12.5 (過去6ヶ月間) 25.6 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2019/Q2	299	—	-3	—	45	—	0.18	0.00
		株主資本利益率(ROE)	-28.8 (%)	2020/Q2	409	37	42	黒転	124	175	0.49	0.00
		株式ベータ	0.81 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

ラムリサーチ(LRCX)

エッチング装置の世界最大手

上場市場

ナスダック

セクター

半導体製造装置

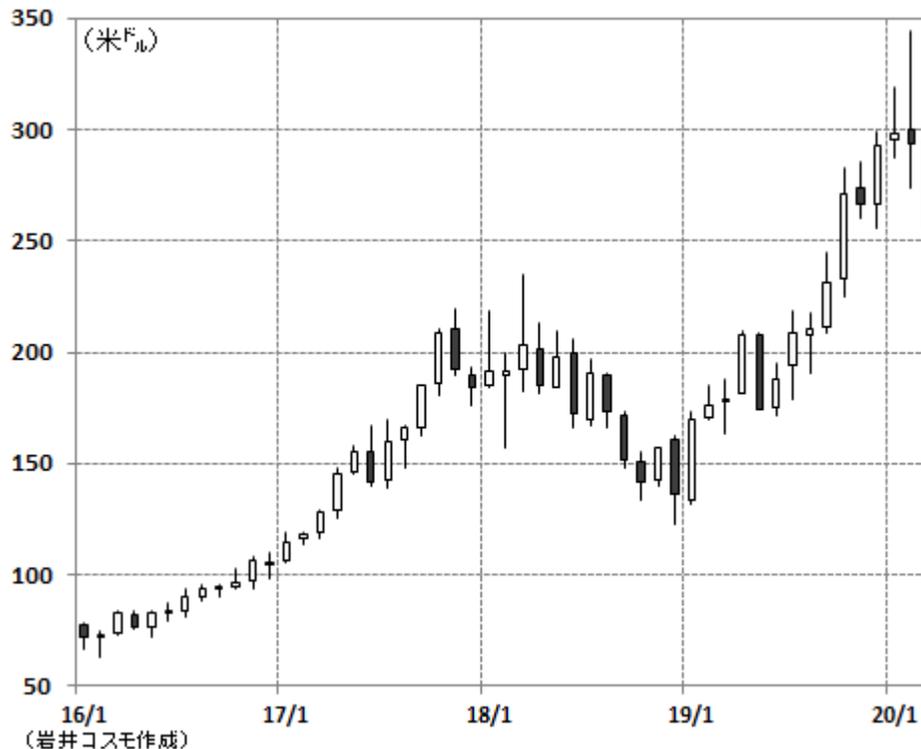
会社概要

半導体製造装置大手。半導体製造工程の前工程のエッチング装置で世界トップシェアを誇る。半導体メカは同社のウエハ加工装置を活用することで、より小型で高速かつ高性能な電子デバイスを作ることができる。2011年に同業ヘラス・システムズを28億ドルで買収。1980年創業、本社はカリフォルニア州・フリーモント、従業員数は約10,700人(19年12月末時点)。アプライト・マテリアルズ、東京エレクトロン等がライバル。

注目ポイント

□ **エッチング装置に強み、微細化で需要拡大:** 同社は半導体製造工程における前工程のエッチングに強みを持つ。エッチング装置とは、半導体に精密な凹凸を形成するための装置で、パターンにあわせて不要な部分を削る。半導体の回路線幅の微細化に伴い、露光機1台に対してエッチング装置が従来の1~2台から、複数台を使用する必要性が生じているとされる。

□ **良好な市場展望を示す:** 20年暦年ヘラスの半導体前工程製造装置(WFE)の市場規模は、受託製造業者やロジック系半導体メカの支出増により、「500億ドル台半ば~後半」になるとし、19年の「460~470億ドル」を上回る見通しを示した。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	255.3 (03/30)	実績PER	18.2 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	344.31 (20/02/13)	株価売上高比率	3.9 (倍)	2018/06	11,077	38	3,213	69	2,381	40	13.17	2.55
52週安値(日付)	171.08 (19/06/03)	PBR	8.3 (倍)	2019/06	9,654	-13	2,465	-23	2,191	-8	13.70	4.40
時価総額	372億ドル 4兆0,042億円	税前提当利回り(%)	1.80 (直近年率)	<b>四半期業績</b>								
株価変化率(%)	10.5 (過去6ヶ月間) 42.6 (過去1年間)	配当成長率(%)	3.4 (過去1年間)	2019/Q2	2,523	—	690	—	569	—	3.51	1.10
		株主資本利益率(ROE)	40.7 (%)	2020/Q2	2,584	2	687	-1	515	-10	3.43	1.15
		株式ベータ	1.42 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

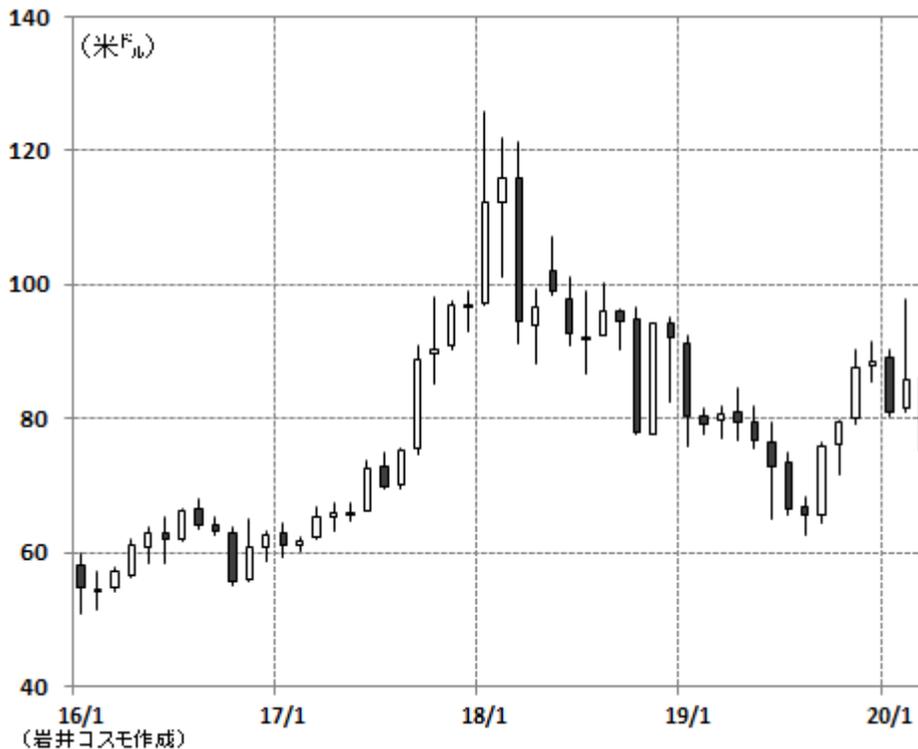
関節リウマチ薬を主力とする米製薬大手。しわ取り薬で知られるアラガンを買収予定

会社概要

新薬メカ大手。米医療計測機器大手アボット社から2013年1月に分離・独立。「S&P500種・配当貴族指数」の構成銘柄。免疫学やC型肝炎、婦人病、腫瘍、神経系疾患等の治療薬を開発。最主力薬は売上の5割以上占める「ヒュミラ」で、関節リウマチ治療薬の世界売上No.1(17年)を誇ったが、18年後半に欧州各国で特許切れ、米国では2022年に完全切れる見込み。19年6月にアラガンの買収を発表。

注目ポイント

- **中国保険当局に抗HIV薬を提供**：新型コロナウイルス対策の緊急診療試験に中国保険当局が当社の抗HIV治療薬「アルピア」を使用。公衆衛生危機の支援のため、アッヴィは寄付という形をとっている。
- **アラガンを1-3月期に買収見込み**：しわ取り薬「ホトックス」で知られるアラガンを1-3月期中に買収手続きを終える予定。統合によるシナジー効果目標20億ドルを掲げる。アッヴィ単独の今20年度見通しは為替変動を除く増収率が前期比8%増、調整後1株利益は前期比7~9%増の9.61~9.71ドルを提示。会社側は20以上の開発後期の臨床試験プログラムが進行中で新薬開発の充実振りは業界トップクラスとした。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	75.24 ( 03/30 )
52週高値(日付)	97.86 ( 20/02/12 )
52週安値(日付)	62.55 ( 20/03/23 )
時価総額	1,111億ドル 11兆9,727億円
株価変化率(%)	-0.6 (過去6ヶ月間) -6.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	9.4 (倍)
株価売上高比率	3.4 (倍)
PBR	- (倍)
税前提当利回り(%)	6.27 (直近年率)
配当成長率(%)	11.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	- (%)
株式ベータ	1.00 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	32,753	16	6,383	-33	5,687	7	3.66	3.95
2019/12	33,266	2	12,983	103	7,882	39	5.28	5.57
四半期業績								
2018/Q4	8,305	—	-2,441	—	-1,826	—	-1.23	1.07
2019/Q4	8,704	5	3,956	黒転	2,801	黒転	1.88	0.71

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

**I B M(IBM)**

上場市場

ニューヨーク

セクター

ITサービス

IT(情報技術)業界の老舗。融合型クラウド、ブロックチェーンや量子コンピューターで巻き返しを図る

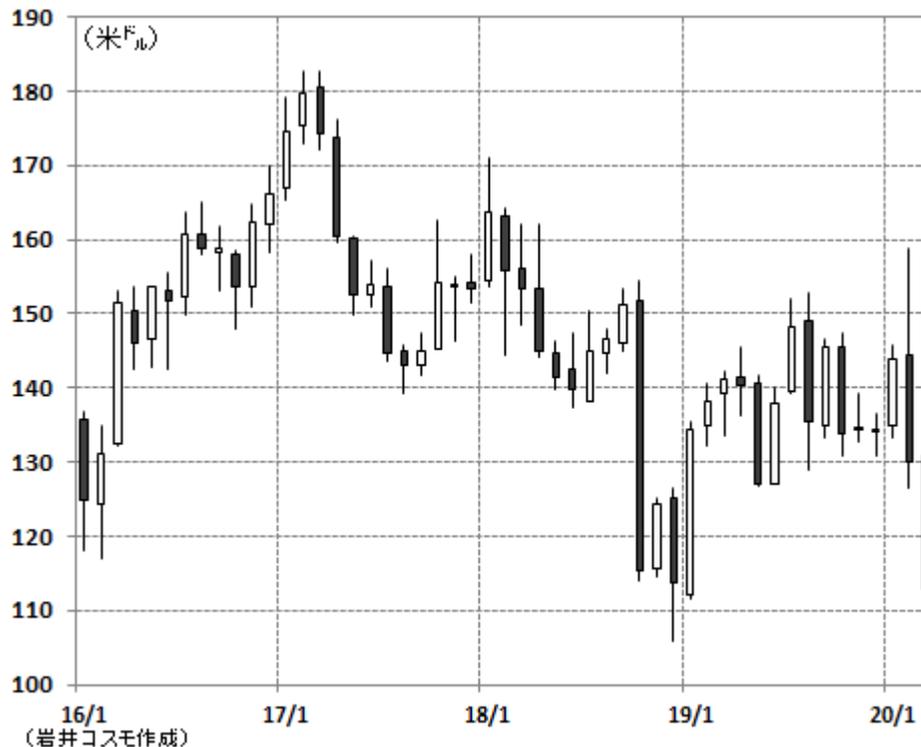
## 会社概要

1910年設立。100年以上の歴史を持つ老舗企業でコンピュータサービス最大手。米国特許取得の年間件数では26年連続の首位。「ビッグデータ」分析やAI機能搭載のスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生み出した。メインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業が安定収益源である一方、クラウド化推進の妨げにもなり、アマゾンやマイクロソフト等に出遅れてきた面も。株主還元では24年連続の増配実績記録を持つ。

## 注目ポイント

□**レッドハット買収とトップ交代**: IBMはクラウド関連ソフト大手のレッドハットを約350億ドルかけて19年7月に取得。これを機にリナックスを基盤にしたオンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型のハイブリッドクラウド分野を強化中。レッドハット買収に尽力したインド出身のクリシュナ氏が4月に次期CEOに就任する予定で量子コンピューティングなど多くの新テクノロジーの開発分野を束ねる同氏の手腕に期待が高まる。

□**ブロックチェーン技術で活路**: 暗号通貨で注目を集めた改ざんされにくい「ブロックチェーン(分散型台帳)技術」の活用に積極的。食品取引や契約文書の管理、貿易金融等の分野で本格運用段階にある。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	112.93 ( 03/30 )
52週高値(日付)	158.72 ( 20/02/06 )
52週安値(日付)	90.6 ( 20/03/23 )
時価総額	1,003億ドル 10兆8,113億円
株価変化率(%)	-22.3 (過去6ヶ月間) -20.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	8.3 (倍)
株価売上高比率	1.3 (倍)
PBR	4.8 (倍)
税前配当利回り(%)	5.74 (直近年率)
配当成長率(%)	3.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	50.1 (%)
株式ベータ	1.04 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	79,591	1	11,342	-1	8,728	52	9.52	6.21
2019/12	77,147	-3	10,166	-10	9,431	8	10.56	6.43
四半期業績								
2018/Q4	21,760	—	4,434	—	1,951	—	2.17	1.57
2019/Q4	21,777	0	3,993	-10	3,670	88	4.11	1.62

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

アルファベット(GOOG)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告市場拡大の恩恵享受

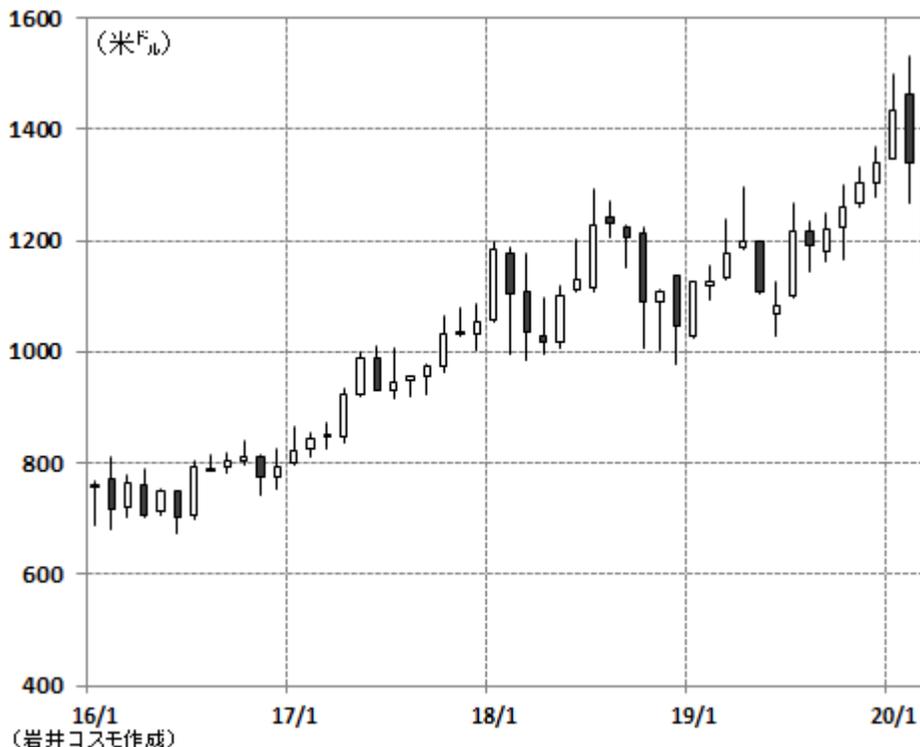
## 会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロムブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は118,899人(19年12月末)。

## 注目ポイント

□ **ユーチューブ事業の19年売上高は151億ドル**: スマホOSの8割以上が「アンドロイド」であり、スマホビジネスを有利に進める。検索連動広告/ユーチューブ/クラウドが今後の収益の柱として鮮明化。前回決算より「ユーチューブ」売上の開示があり、19年度実績が前期比36%増の151億ドルを記録、連結売上の9%を占めた。ほかクラウドサービスが同53%増の89億ドル、自社設計スマホ・AIスピーカーを含む「その他」が同21%増の170億ドルと多角化が一層進んだ格好。

□ **量子コンピュータ**: 同社の研究チームが開発している量子コンピュータが現在のスーパーコンピュータで1万年かかる計算を200秒で終えたと研究雑誌に発表。世界中で開発競争を繰り広げる同分野で存在感をみせた。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	1146.31 ( 03/30 )	実績PER	23.9 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	1530.65 ( 20/02/19 )	株価売上高比率	4.9 (倍)	2018/12	136,819	23	27,524	5	30,736	143	43.70	0.00
52週安値(日付)	1009 ( 20/03/23 )	PBR	3.9 (倍)	2019/12	161,857	18	34,231	24	34,343	12	18.00	0.00
時価総額	7,880億ドル 84兆9,180億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	-6.1 (過去6ヶ月間) -2.6 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q4	39,276	—	8,221	—	8,948	—	12.77	0.00
		株主資本利益率(ROE)	18.1 (%)	2019/Q4	46,075	17	9,266	13	10,671	19	15.35	0.00
		株式ベータ	0.89 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

フェイスブック(FB)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

## 25億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

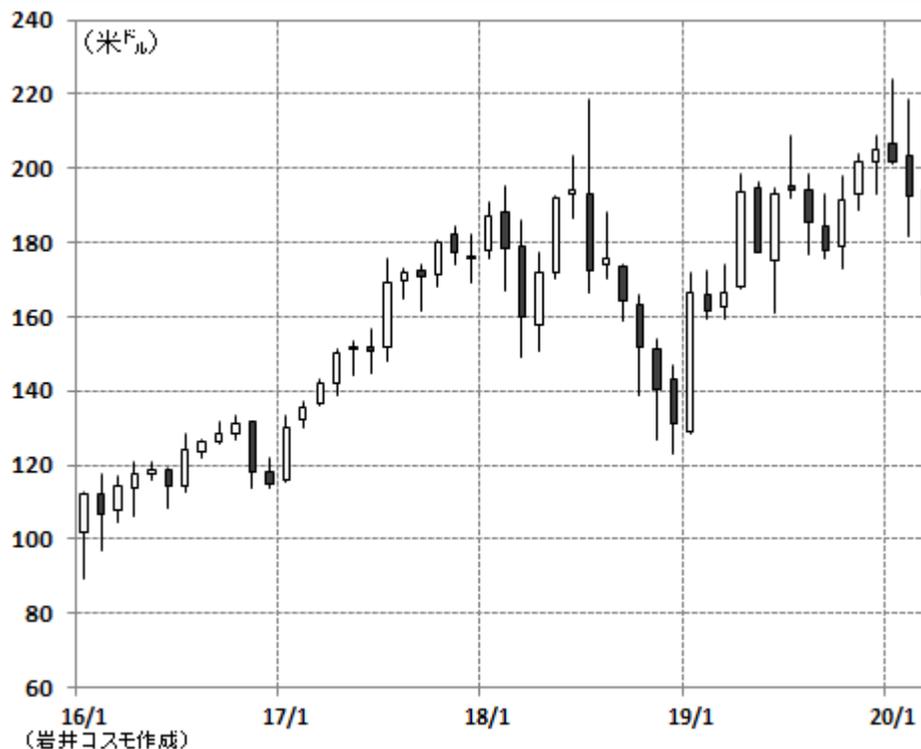
### 会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動)は全世界で25.0億人(19年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。収入構成の99%が広告、1%が決済手数料などの広告外収入(前期実績)。対話アプリのワッツアップを14年10月に買収。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は44,942名(19年12月末)。

### 注目ポイント

□ **第4四半期、売上高、最終利益は過去最高を更新**: 19年10-12月期は売上高が前年同期比25%増、純利益が同7%増。プライバシー保護や政治的問題により同社への逆風が続く中、インターネット広告事業が拡大、売上高と最終利益は四半期ベースで過去最高を更新した。

□ **広告事業の苦戦を表明**: 同社は3月24日、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、一部の重要な地域で広告事業が「弱くなっている」と指摘。ブログ投稿の中で「我々の事業は世界の他の多くの企業と同様に悪影響を受けている」と説明。一方で「メッセージャー」などのサービスは利用が急激に増えていることも明かした。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	165.95 ( 03/30 )	実績PER	20.2 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	224.2 ( 20/01/29 )	株価売上高比率	6.7 (倍)	2018/12	55,838	37	24,913	23	15,920	39	7.57	0.00
52週安値(日付)	137.11 ( 20/03/18 )	PBR	4.7 (倍)	2019/12	70,697	27	23,986	-4	18,485	-16	6.43	0.00
時価総額	4,730億ドル 50兆9,740億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	<b>四半期業績</b>								
株価変化率(%)	-6.8 (過去6ヶ月間) -0.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q4	16,914	—	7,820	—	6,882	—	2.38	0.00
		株主資本利益率(ROE)	20.0 (%)	2019/Q4	21,082	25	8,858	13	7,349	7	2.56	0.00
		株式ベータ	0.94 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

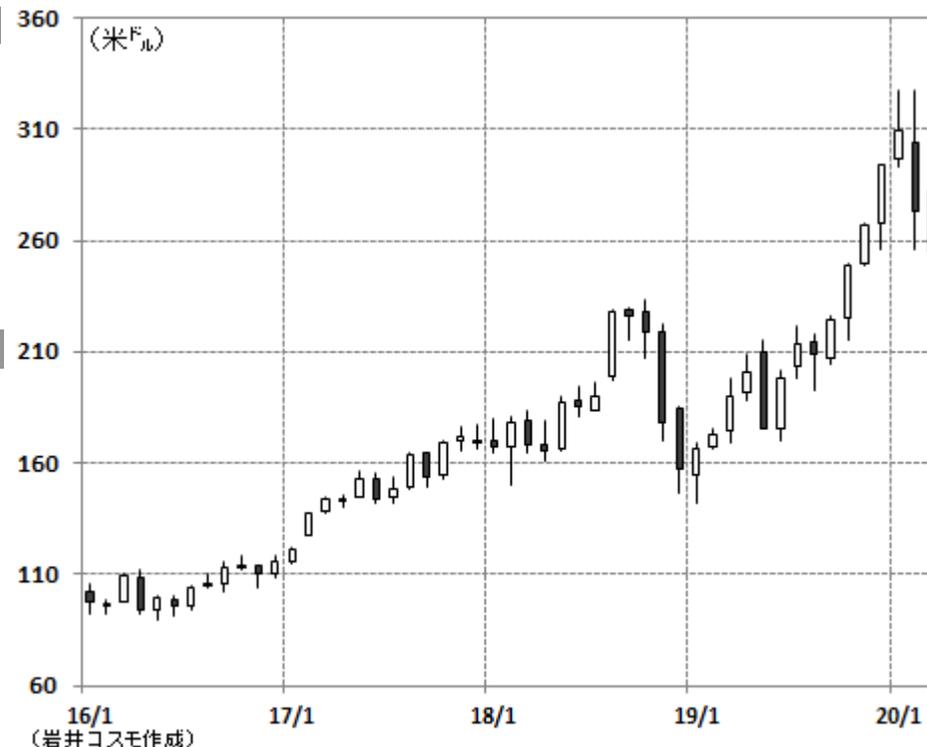
デジタルIT機器の設計・販売大手。収益の多様化が進む。5G対応iPhoneを投入予定

## 会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

## 注目ポイント

- **第1四半期、売上高、最終利益は過去最高を更新**: 19年10-12月期決算は、売上高が前年同期比9%増の918億ドル、純利益は同11%増の222億ドルと、ともに四半期ベースでの過去最高を更新。主力のiPhoneが5四半期ぶりに増収に転じ業績をけん引した。
- **20年1-3月期の売上高ガイダンスは未達と訂正**: 同社は2月17日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、1-3月期の売上高ガイダンスを達成することはないとの見通しを明らかにした。中国では業務が再開し始めているが、「我々の当初の予想よりも、通常に戻るのが遅い」と説明し、世界的にiPhoneの供給が一時的に抑制されるとの見方を示した。



株価チャート (2016年以降・月足)

### 株価データ

株価(米ドル)	254.81 ( 03/30 )
52週高値(日付)	327.85 ( 20/01/29 )
52週安値(日付)	170.27 ( 19/06/03 )
時価総額	1兆1,149億ドル 1,20兆1,434億円
株価変化率(%)	13.8 (過去6ヶ月間) 34.1 (過去1年間)

### 株価指標(バリュエーション)

実績PER	20.1 (倍)
株価売上高比率	4.3 (倍)
PBR	12.5 (倍)
税前提当利回り(%)	1.21 (直近年率)
配当成長率(%)	5.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	55.5 (%)
株式ベータ	1.03 (対S&P500)

### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/09	265,595	16	70,898	16	59,531	23	11.91	2.72
2019/09	260,174	-2	63,930	-10	55,256	-7	11.89	3.04

### 四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q1	84,310	—	23,346	—	19,965	—	4.18	0.73
2020/Q1	91,819	9	25,569	10	22,236	11	4.99	0.77

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

ネットフリックス(NFLX)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

米国の動画配信サービス最大手。オリジナル・コンテンツの充実で世界の加入者獲得を推進

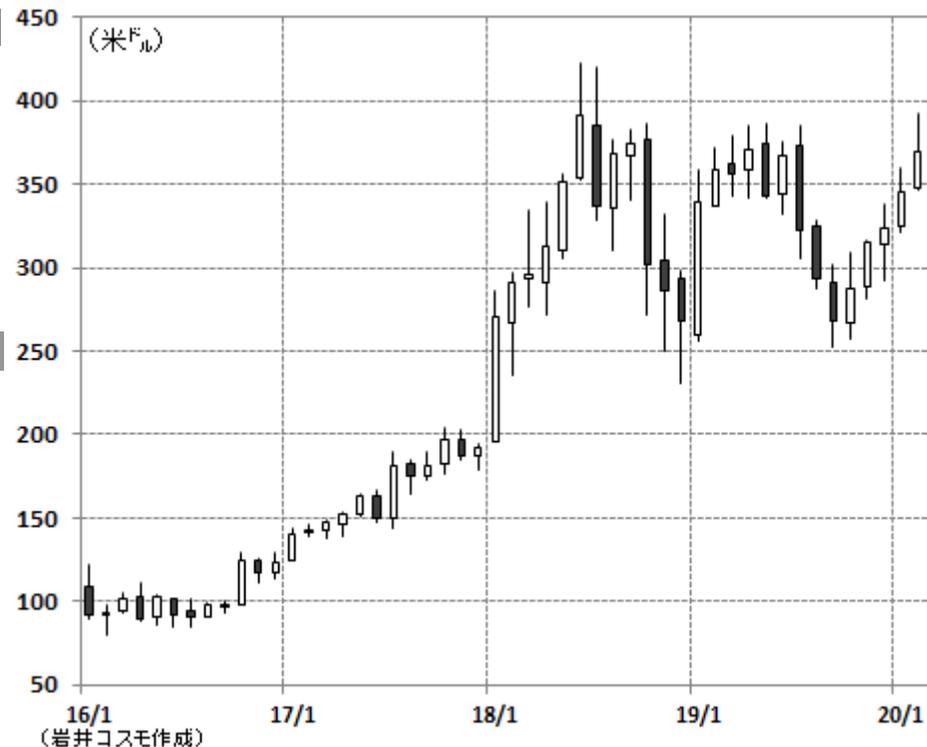
## 会社概要

1997年創立。オンラインDVDレンタルと映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。ネット宅配DVDレンタルから始めたが、現在は動画配信事業が主力。人気映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化中。現在の展開地域は190カ国超、有料加入者数は米国が6,104万人、海外が1億60万人(19年12月末)、19年の世界加入者当りの月次収入は前期比13%増の12.57ドル。

## 注目ポイント

□ **海外成長続く。オリジナル作品充実**: 16年1月に展開地域を190カ国超に拡大し、オリジナルドラマやコメディ番組を強化。米国ではTV視聴時間全体の1割をネットフリックスが占めるまで浸透。第92回アカデミー賞では作品賞に韓国映画「パラサイト」が選ばれ、同社作品の受賞は2部門にとどまったが、ロバート・デニロ主演の「アイリッシュマン」等の複数作品で最多24部門のミネトは映画界での躍進振りを証明した。

□ **ディズニーの参入も会員離れ進まず**: ディズニーやワーナーメディアが米ストリーミング配信市場に本格参入するが、会員離れの懸念は薄まりつつある。コンテンツ制作費用の上昇を抑えながら良質な作品を提供すると同時に利益や現金収入を増やすことが求められている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	370.96 ( 03/30 )	実績PER	89.8 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	393.52 ( 20/03/03 )	株価売上高比率	8.1 (倍)	2018/12	15,794	35	1,605	91	1,211	117	2.68	0.00
52週安値(日付)	252.3 ( 19/09/24 )	PBR	21.5 (倍)	2019/12	20,156	28	2,604	62	1,867	54	4.13	0.00
時価総額	1,628億ドル 17兆5,411億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	38.6 (過去6ヶ月間) 4.0 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q4	4,187	—	216	—	134	—	0.30	0.000
		株主資本利益率(ROE)	29.1 (%)	2019/Q4	5,467	31	459	113	587	338	1.30	0.000
		株式ベータ	0.93 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

アマゾン・ドット・コム (AMZN)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネット小売

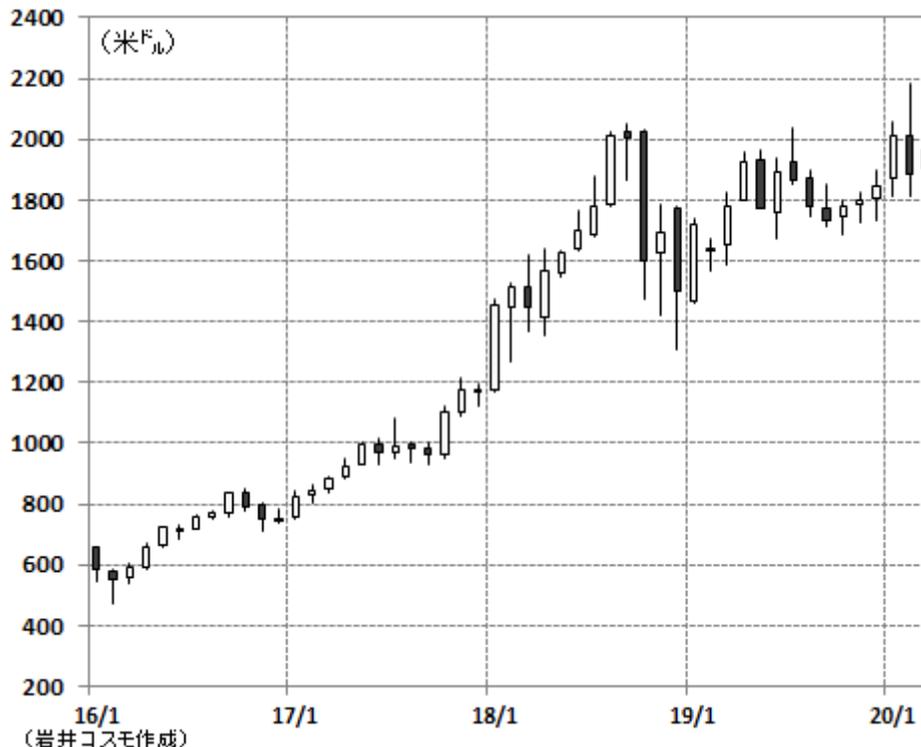
インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

## 会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「Kindleファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は1.5億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

## 注目ポイント

- **利益の伸び悩み懸念を払拭する決算**: 19年10-12月期は売上高が前年同期比21%増の874億ドル、純利益は同8%増の32.7億ドル、1株利益が6.47ドルと市場予想の4.11ドルを大きく上回る着地。書き入れ時の年末商戦でネット通販の利用が一段と広がった他、クラウドサービスも堅調に推移した。
- **エッジコンピューティングでベライゾンと提携**: 同社のクラウドサービス部門 (AWS) は5Gの低遅延サービス提供でベライゾン・コミュニケーションズと提携した。IoT時代に遠隔地のサーバからの反応を待つことなく、利用者により近い場所でデータを迅速に処理する「エッジコンピューティング」分野で優位に立ちたい考えだ。



株価チャート (2016年以降・月足)

## 株価データ

株価(米ドル)	1963.95 ( 03/30 )
52週高値(日付)	2185.95 ( 20/02/11 )
52週安値(日付)	1627 ( 20/03/16 )
時価総額	9,777億ドル 1,05兆3,542億円
株価変化率(%)	13.1 (過去6ヶ月間) 10.3 (過去1年間)

## 株価指標(バリュエーション)

実績PER	85.4 (倍)
株価売上高比率	3.5 (倍)
PBR	15.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	21.9 (%)
株式ベータ	0.81 (対S&P500)

## 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	232,887	31	12,421	203	10,073	232	20.14	0.00
2019/12	280,522	20	14,541	17	11,588	15	23.01	0.00

## 四半期業績

2018/Q4	72,383	—	3,786	—	3,027	—	6.04	0.00
2019/Q4	87,437	21	3,879	2	3,268	8	6.47	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

## ソフトウェア世界最大手。クラウド事業が好調

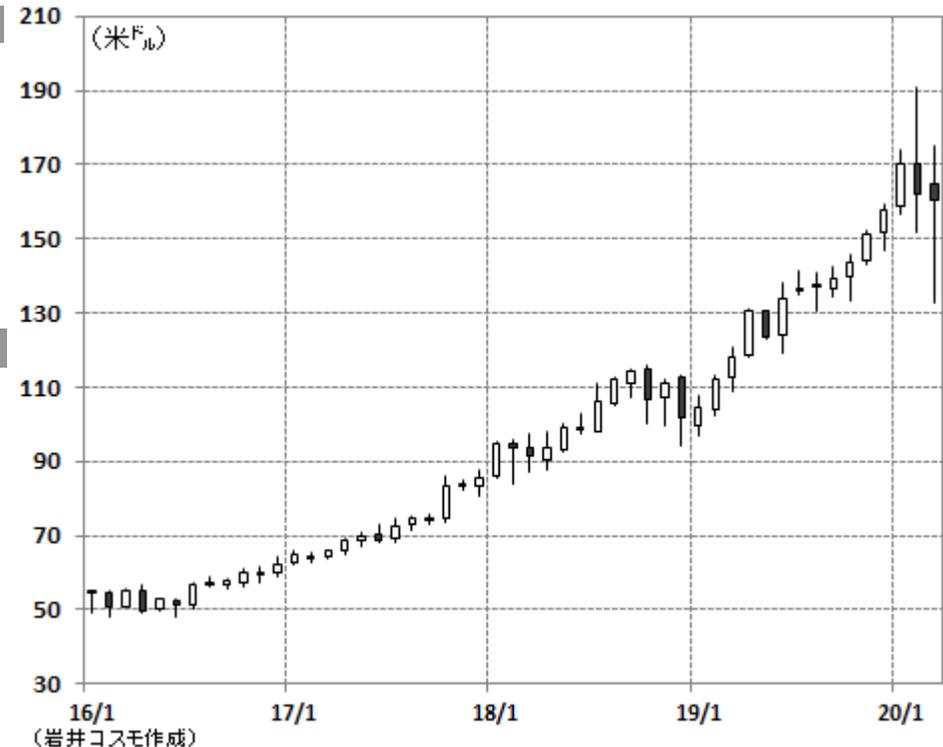
### 会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したサテラ新CEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

### 注目ポイント

□**クラウド事業の拡大が奏功**: 同社はクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。収益性の改善のため、製品からクラウドサービスに収益構造を移行中。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」や、データ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが好調。

□**1-3月期売上高見通しを下方修正**: 同社は2月26日、1-3月期の売上高見通しの下方修正を発表。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中国のパソコン供給業者や製造業に与えている影響を理由に挙げた。基本ソフト「ウィンドウズ」を含む主要部門の一つで従来の見通しを達成できないとし、サプライチェーンの正常化の遅れを指摘した。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	160.23 ( 03/30 )	実績PER	29.7 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	190.66 ( 20/02/11 )	株価売上高比率	9.1 (倍)	2018/06	110,360	14	35,058	21	16,571	-35	2.13	1.68
52週安値(日付)	118.11 ( 19/04/01 )	PBR	11.1 (倍)	2019/06	125,843	14	42,959	23	39,240	137	5.06	1.84
時 価 総 額	1兆2,187億ドル 1,31兆3,289億円	税前提当利回り(%)	1.27 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	15.2 (過去6ヶ月間) 35.9 (過去1年間)	配当成長率(%)	10.2 (過去1年間)	2019/Q2	32,471	—	10,258	—	8,420	—	1.08	0.46
		株主資本利益率(ROE)	43.8 (%)	2020/Q2	36,906	14	13,891	35	11,649	38	1.51	0.51
		株式ベータ	0.94 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

## セールスフォース・ドットコム(CRM)

顧客管理ソフトに強みを持つクラウド專業大手

上場市場

ニューヨーク

セクター

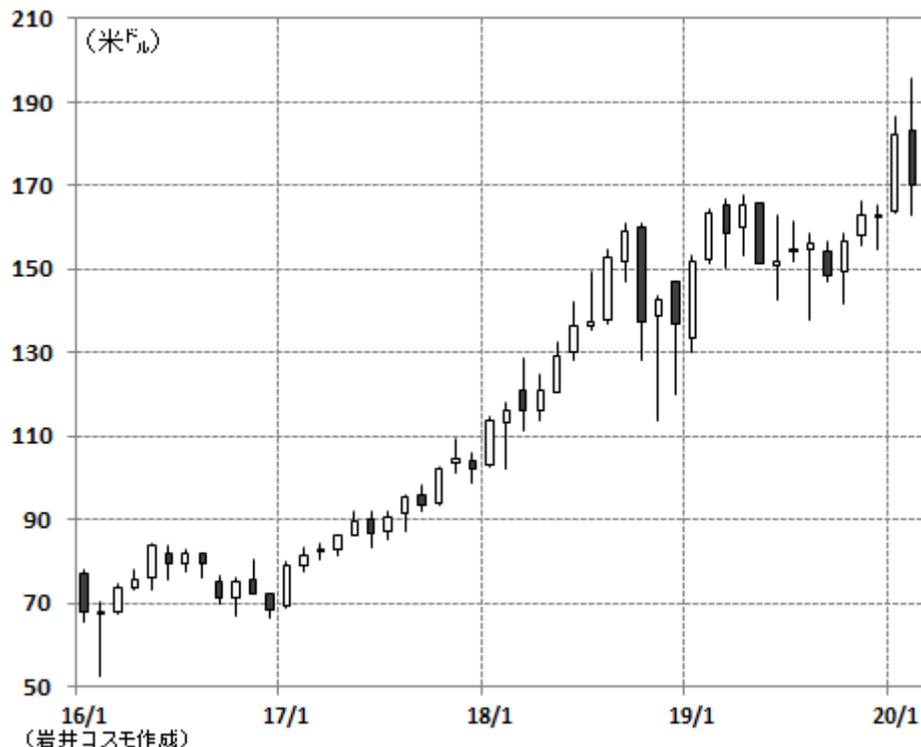
ソフトウェア

### 会社概要

インターネット経由でソフト機能を企業向けに提供するクラウドコンピューティング・サービスの專業大手で先駆的存在。CRM(顧客管理)や営業支援ツールはクラウドベースで世界で最も利用されており、日本ではトヨタ自動車、日本郵政グループなどが大手顧客。ほか中堅・中小企業まであらゆる業種・規模に対応。地域別売上構成(前期)は米州71%、欧州20%、アジア太平洋10%、99年設立、04年ニューヨーク上場。

### 注目ポイント

- **クラウド事業の先駆け、サービス範囲も拡大**: 営業支援・顧客管理を柱に複数のサービスを組み合わせた販売が奏功、カスタマーサービスやクラウドアプリ開発支援、マーケティング分野のクラウド事業も伸びている。顧客はセールスフォースを選ぶ理由として、自社の売上拡大や顧客満足度やマーケティング能力の向上、システムの利用し易さ等を挙げている。
- **タブロー・ソフトウェア買収**: 同社はデータ分析ツールのタブロー・ソフトウェアを19年8月に買収した。タブローは企業向けにデータ分析ツールを提供しており、同社が得意としている顧客管理やマーケティング支援と組み合わせることによって、より付加価値の高いサービスの提供を目指す。



株価チャート (2016年以降・月足)

### 株価データ

株価(米ドル)	149.85 ( 03/30 )
52週高値(日付)	195.7 ( 20/02/20 )
52週安値(日付)	115.43 ( 20/03/18 )
時価総額	1,341億ドル 14兆4,523億円
株価変化率(%)	0.9 (過去6ヶ月間) -5.4 (過去1年間)

### 株価指標(バリュエーション)

実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	7.3 (倍)
PBR	3.9 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	0.5 (%)
株式ベータ	0.98 (対S&P500)

### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/01	13,282	26	535	18	1,110	208	1.43	0.00
2020/01	17,098	29	297	-44	126	-89	0.15	0.00

### 四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q4	3,603	—	137	—	362	—	0.46	0.00
2020/Q4	4,851	35	-36	赤転	-248	赤転	-0.28	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

電子計測機器の世界最大手。次世代通信5G投資の恩恵を享受

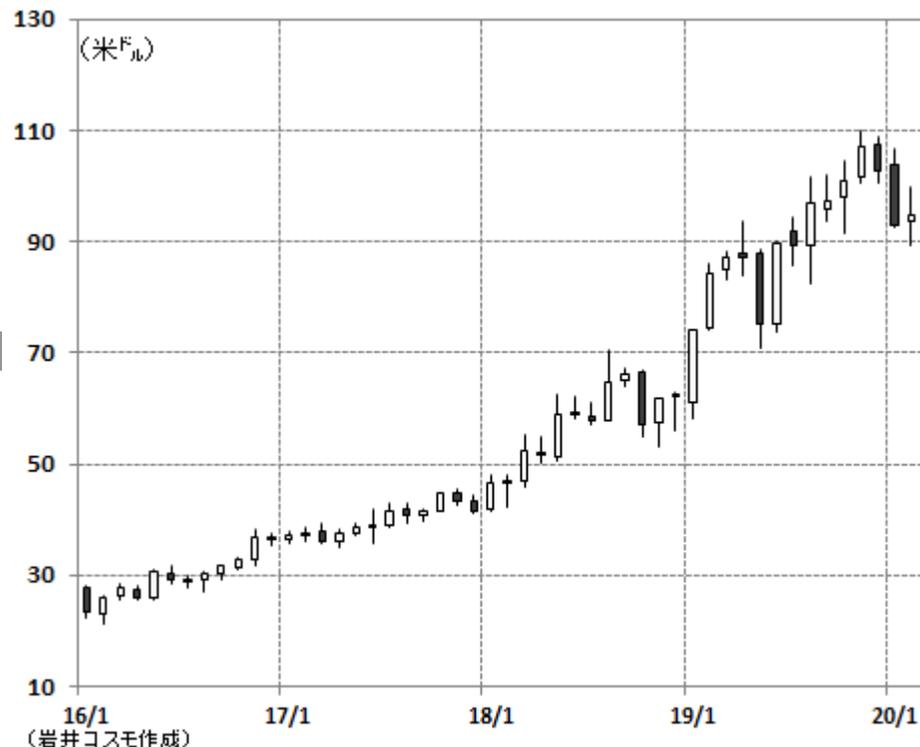
会社概要

電子計測器の世界最大手。14年に総合分析機器のアシレント・テクノロジーズから分離独立。アシレント自体も1999年にヒューレット・パッカドの分離独立企業であり、名門の流れを受け継ぐ。豊富な人材と技術を武器に電子計測機器の販売や専門性の高いコンサルティングを提供。17年にソフトウェアの検査・評価に強みを持つイクシア社を買収し業容の拡大を図る。従業員数は約13,600名(19年10月末)。

注目ポイント

□ **5G時代の恩恵を享受**: 売上の約3割強を占める通信分野向け事業は、通信事業者向けに様々な通信計測機器の販売やコンサルティング業務を展開。19年11-1月期決算では、売上高は前年同期比9%増の11.0億ドル、純利益は同43%増の1.63億ドル、一部項目を除く調整後1株利益は同35%増の1.26ドルだった。高速通信規格「5G」需要に加え、航空宇宙防衛関連や半導体検査も好調だった。

□ **計測器の世界的なガリバー**: 通信分野での世界シェアは25%(同社推定)で世界トップ。キーサイトはNTTドコモ、ソフトバンクや韓国サムスン電子などの世界中の企業と提携、協業を加速させている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	85.66 ( 03/30 )	実績PER	24.5 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	110 ( 19/11/18 )	株価売上高比率	3.7 (倍)	2018/10	3,878	22	-394	赤転	165	62	0.86	0.00
52週安値(日付)	71.04 ( 19/05/29 )	PBR	5.1 (倍)	2019/10	4,303	11	711	黒転	621	276	3.25	0.00
時価総額	161億ドル 1兆7,298億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	<b>四半期業績</b>								
株価変化率(%)	-11.9 (過去6ヶ月間) -1.8 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2019/Q1	1,006	—	121	—	114	—	0.60	0.00
		株主資本利益率(ROE)	23.2 (%)	2020/Q1	1,095	9	203	68	163	43	0.86	0.00
		株式ベータ	0.78 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

ASMLホールディングADR(ASML)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体製造装置

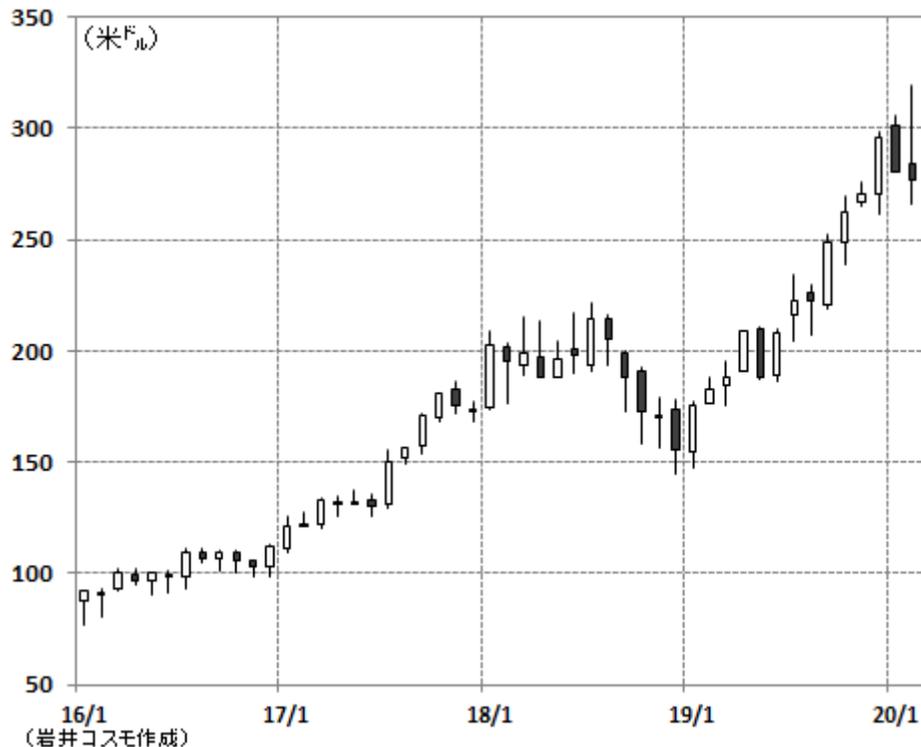
オランダの半導体製造装置世界大手。「EUV露光」の唯一のメーカー

## 会社概要

オランダの半導体製造装置メーカー。半導体製造工程の前工程の装置メーカーの2018年の売上規模で、首位の米アプライト・マテリアルズに次ぐ2位に位置する。半導体の回路をシリコンウエハ上に焼き付ける露光装置のシェアの約8割を抑える。1984年オランダのフィリップス社と半導体商社ASMインターナショナルに折半出資された会社が起源。本社はオランダ・フェルトホフェン、従業員数は24,900人(19年12月末)。

## 注目ポイント

- **EUV露光で世界をリード**: 世界で唯一単独供給する「EUV露光装置」は、光源に屈折率の大きな極端紫外線を用いて、より細かい電子回路を焼き付けることが可能であり、先端半導体の開発に大きく貢献。「EUV露光装置」は巨額な研究開発費もあり、1台1億ユーロ以上と高額だが、前19年度は26台、金額にして28億ユーロを出荷。
- **1-3月期売上高見通しを下方修正、自社株買いも中止**: 同社は3月30日、1-3月期の売上高見通しを24~25億ユーロとし、従来の31~33億ユーロから下方修正。粗利益率に関しても45~46%と従来の46~47%から引き下げた。また、4-6月期の自社買いを中止することも、あわせて発表した。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	268.03 (03/30)
52週高値(日付)	319.22 (20/02/14)
52週安値(日付)	186.39 (19/06/03)
時価総額	1,141億ドル 12兆2,943億円
株価変化率(%)	7.9 (過去6ヶ月間) 42.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	39.4 (倍)
株価売上高比率	8.6 (倍)
PBR	8.1 (倍)
税前配当利回り(%)	1.12 (直近年率)
配当成長率(%)	38.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.3 (%)
株式ベータ	1.16 (対S&P500)

## 通期業績

決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2018/12	10,944	22	2,965	22	2,592	25	6.08	1.40
2019/12	11,820	8	2,791	-6	2,592	0	6.15	3.15

## 四半期業績

四半期	売上高 (百万ユーロ)	前同四半期 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同四半期 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同四半期 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2018/Q4	3,143	—	818	—	788	—	1.86	—
2019/Q4	4,036	28	1,277	56	1,134	44	2.69	1.05

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

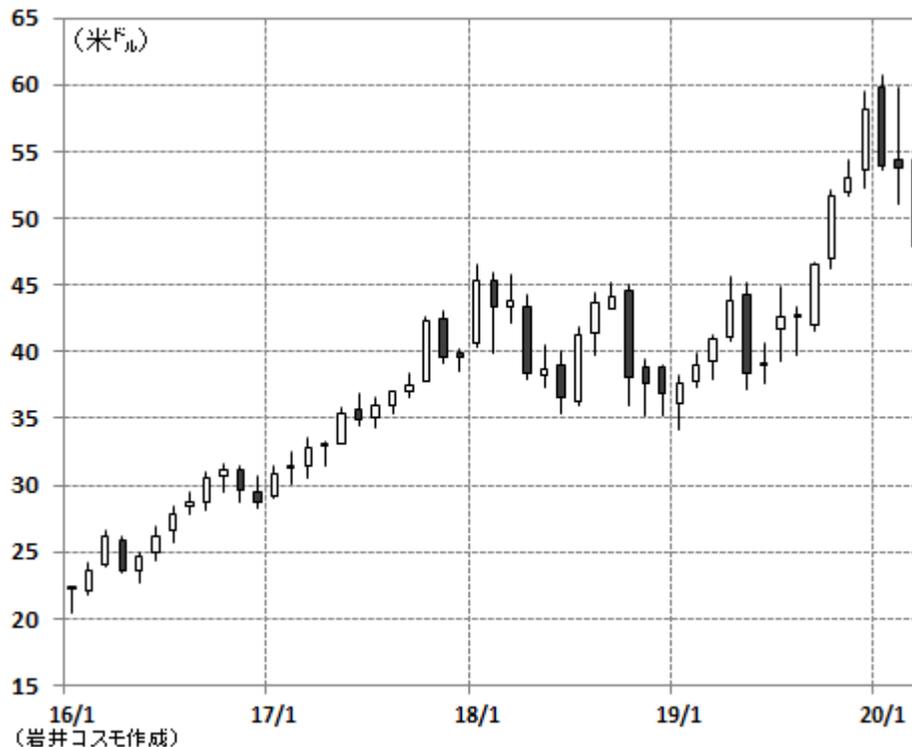
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計、製造、販売を一切行なわないことで、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして、2018年には481の顧客企業を対象に、10,436個の製品を製造。同社が製造する半導体はコンピュータ、通信、産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用されている。

注目ポイント

- **主要顧客は世界的企業**: 主要顧客には、アップル、クアルコム、ファーウェイ、エヌビディア、アドバンスト・マイクロ・デバイス等、世界的大企業が名を連ねている。これらの企業はスマホ、サーバ等で使用される最高水準の半導体の製造を同社に委託している。中でも最大顧客のアップルは全売上高の20%程度を占めていると見られる。
- **微細化プロセスで先行**: 半導体業界では現在7nm製造プロセスへの移行を急速に進めているが、多くの企業は実現出来ておらず、同社は7nmプロセスで業界をリードする存在。2020年前半には5nmプロセス製品の量産を開始すべく、その準備を着々と進めている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	47.82 ( 03/30 )	実績PER	21.7 (倍)	決算期	売上高 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	1株利益 (台湾ドル)	配当 (台湾ドル)
52週高値(日付)	60.64 ( 20/01/14 )	株価売上高比率	7.0 (倍)	2018/12	1,031,474	—	383,624	—	351,131	—	67.71	40.00
52週安値(日付)	37.185 ( 19/05/29 )	PBR	4.6 (倍)	2019/12	1,069,985	4	372,701	-3	345,264	-2	66.58	50.00
時 価 総 額	2,480億ドル 26兆7,243億円	税前提当利回り(%)	3.49 (直近年率)	<b>四半期業績</b>								
株価変化率(%)	2.9 (過去6ヶ月間) 16.7 (過去1年間)	配当成長率(%)	17.8 (過去1年間)	2018/Q4	289,770	—	107,123	—	99,984	—	19.28	—
		株主資本利益率(ROE)	20.9 (%)	2019/Q4	317,237	9	124,244	16	116,035	16	22.37	12.50
		株式ベータ	0.83 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

クアルコム(QCOM)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体開発

## 5G対応スマートフォンの生産拡大で恩恵享受へ

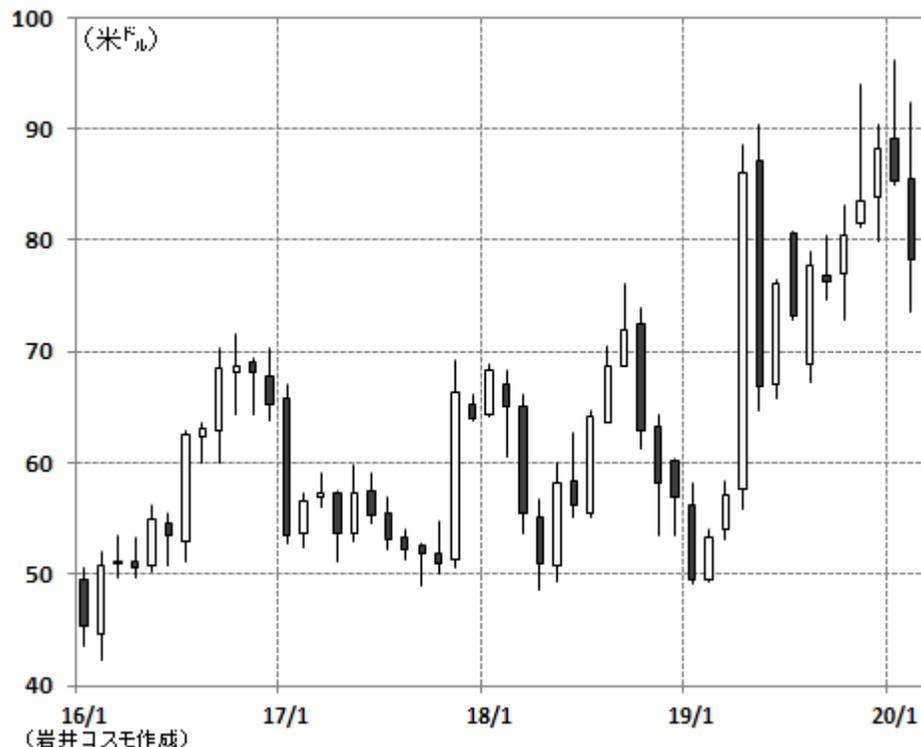
### 会社概要

1985年創業の移動体通信技術で強みを持つ米半導体大手。CDMA(符号分割多重接続)方式やOFDMA(直交周波数分割多元接続)方式の無線通信の知的財産をライセンス供与。携帯端末メーカーへ自社開発半導体の販売とライセンス供与先メーカーの携帯電話端末販売台数に対する特許料収入が収益の柱。5G関連の通信分野の特許も多数保有。従業員数は約37,000人(19年9月末時点)。

### 注目ポイント

□ **アップルと電撃和解**: 巨額のライセンス契約の支払いを巡り2年前から訴訟合戦を繰り広げたアップルと同社は19年4月に全面的に和解。アップルが一時金を支払い、複数年契約を締結。電波の送受信を担うアンテナと頭脳のプロセッサとの間でデータをやり取りする5G対応の通信モデムをアップルのiPhone向けに供給することになった。

□ **5G対応に伴う恩恵を享受**: 同社は20年の5G対応スマホは全世界で最高2.25億台出荷されると予想。主要メーカーは同社の通信モデム「スナップドラゴン」の5Gコアチップセットとアンテナの両方を採用する動きがあり、年後半以降にチップセットの出荷が大きく増える公算とした。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	69.03 ( 03/30 )
52週高値(日付)	96.165 ( 20/01/17 )
52週安値(日付)	55.785 ( 19/04/11 )
時価総額	789億ドル 8兆5,027億円
株価変化率(%)	-9.5 (過去6ヶ月間) 21.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	10.9 (倍)
株価売上高比率	3.4 (倍)
PBR	17.5 (倍)
税前配当利回り(%)	3.77 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	104.4 (%)
株式ベータ	1.01 (対S&P500)

### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/09	22,611	2	621	-76	-4,964	赤転	-3.39	2.38
2019/09	24,273	7	7,667	1,135	4,386	黒転	3.59	2.48

### 四半期業績

2019/Q1	4,842	—	710	—	1,068	—	0.87	0.62
2020/Q1	5,077	5	1,030	45	925	-13	0.80	0.62

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)  
**エヌビディア(NVDA)**

上場市場  
**ナスダック**

セクター  
**半導体開発**

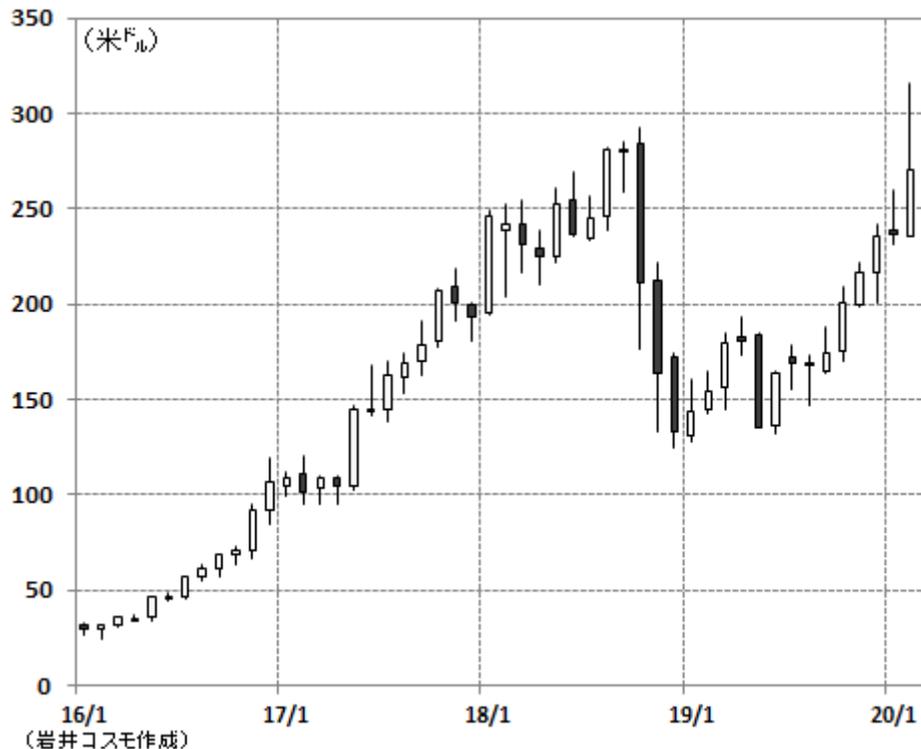
## 「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

### 会社概要

1993年設立の米国の半導体メカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行わないファブレスメカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成はゲーム市場向けが51%、視覚化技術に関するプロ向けが11%、AIを含むデータセンター向けが27%、自動車向けが6%、OEM&IPが5%(20年1月期)。

### 注目ポイント

- **「AI」の計算処理に同社GPUが活躍**: IBMやアマゾン、マイクロソフト、アルファベットなどのIT大手各社は「深層学習(自ら学ぶ)」といった新技術を用いた人工知能の計算処理に同社半導体を利用している。
- **5四半期ぶりの増収増益**: 19年11-1月期業績は前年同期比41%増収、68%最終増益となり、5四半期ぶりの増収増益を達成。主力のゲーム市場向けがVR(仮想現実)関連の好調で同56%増の14.9億ドルと回復。データセンター向けが同43%増の9.68億ドルを売上げ、過去最高を更新。今後イスラエルの半導体設計会社メラックスの買収が実現すればス・パ・コンピュータ用の半導体の開発強化に繋がる見込み。



株価チャート (2016以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	265.59 ( 03/30 )	実績PER	58.0 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	316.32 ( 20/02/20 )	株価売上高比率	14.8 (倍)	2019/01	11,716	21	3,804	19	4,141	36	6.63	0.610
52週安値(日付)	132.64 ( 19/06/03 )	PBR	13.3 (倍)	2020/01	10,918	-7	2,846	-25	2,796	-32	4.52	0.640
時価総額	1,627億ドル 17兆5,293億円	税前提当利回り(%)	0.24 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	52.6 (過去6ヶ月間) 47.9 (過去1年間)	配当成長率(%)	3.2 (過去1年間)	2019/Q4	2,205	—	294	—	567	—	0.92	0.160
		株主資本利益率(ROE)	25.9 (%)	2020/Q4	3,105	41	990	237	950	68	1.53	0.160
		株式ベータ	1.39 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)  
**ザイリンクス(XLNX)**

上場市場  
**ナスダック**

セクター  
**半導体製造**

**ソフトウェアにより回路を変更することができる半導体の大手。データセンターや5G関連の恩恵享受**

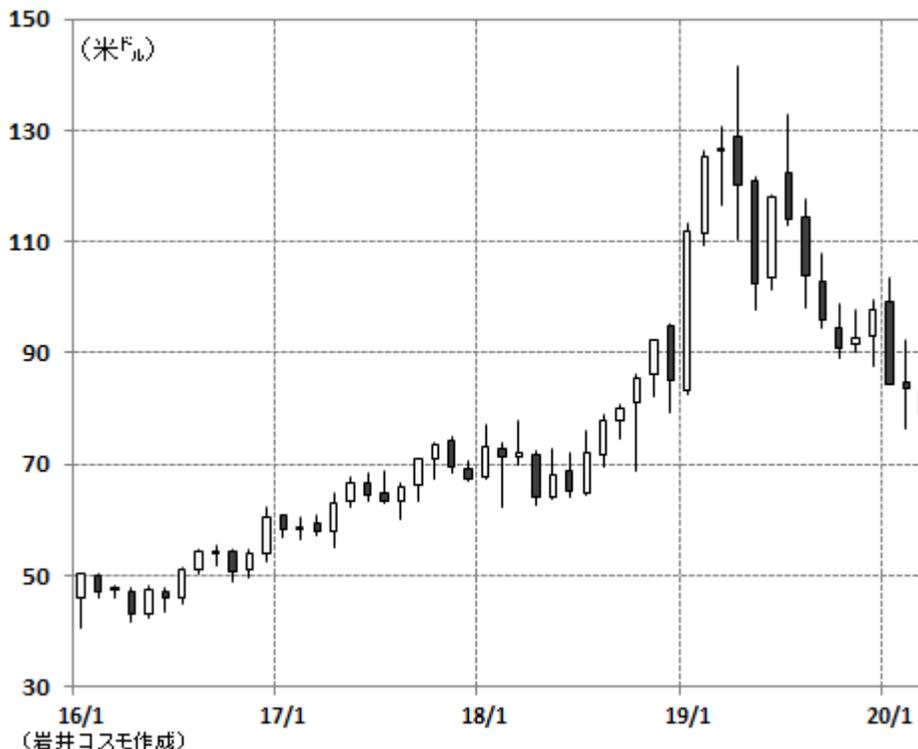
## 会社概要

ユーザー自身が論理回路をソフトウェアで設定することが可能なロジックLSI(大規模集積回路)であるPLD(プログラム可能論理デバイス)の大手。PLDの中でも機器に組み込まれた状態で回路変更が可能なFPGAの最大手。生産は主に台湾TSMCに委託し、自社生産設備をもたないファブレスメーカー。1984年創業、本社はカリフォルニア州、従業員数は4,433名(19年3月時点)。

## 注目ポイント

□**データセンターや5G関連の恩恵を享受**: PLD半導体は、回路が固定されてない大規模集積回路であり、ソフトウェアにより回路を何度も変更することができる特長を持つ。携帯電話の基地局やデジタル家電の試作品向け等に広く使われてきた。近年はデータセンターの計算処理にもPLDの一種であるFPGAが採用され、用途が拡大中。

□**ファウエイの影響について**: 19年5月に米商務省の措置を受けてファウエイと出荷制限により現在ファウエイからの売上は見込んでいない(ファウエイは自社半導体製品の採用を進めている)。ザイリンクスは別の通信機器メーカーの基地局向けに来21年度の後期に次世代製品を提供する予定。来21年3月期は前期比「2桁成長」を目指している。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	79.35 ( 03/30 )	実績PER	23.1 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	141.59 ( 19/04/24 )	株価売上高比率	6.2 (倍)	2018/03	2,467	—	686	—	464	—	1.80	1.32
52週安値(日付)	67.68 ( 20/03/12 )	PBR	7.5 (倍)	2019/03	3,059	24	957	39	890	92	3.47	1.40
時 価 総 額	197億ドル 2兆1,277億円	税前提当利回り(%)	1.87 (直近年率)	<b>四半期業績</b>								
株価変化率(%)	-17.3 (過去6ヶ月間) -37.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	2.8 (過去1年間)	2019/Q3	800	—	258	—	239	—	0.93	0.36
		株主資本利益率(ROE)	33.2 (%)	2020/Q3	723	-10	159	-38	162	-32	0.64	0.37
		株式ベータ	0.80 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

ウェスタン・デジタル(WDC)

上場市場

ナスダック

セクター

ストレージ(記憶装置)

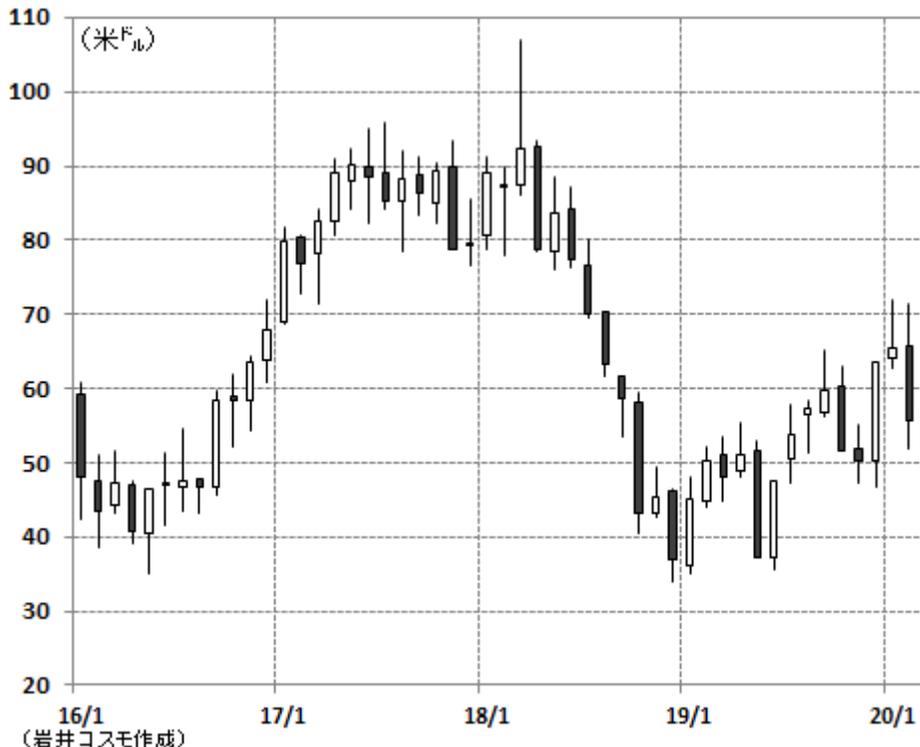
HDDやフラッシュメモリの業界大手。スマホやエッジコンピューティング市場の成長の恩恵享受

会社概要

HDD(ハードディスク駆動装置)業界2位、NAND型フラッシュメモリ業界3位のストレージ製品の世界大手。ストレージ製品世界売上では韓国サムスン電子に次ぐ規模。PC産業が隆盛となった90年代にHDD事業に専念、2011年に日立製作所からHDD部門を買収、2016年に米サンディスクを買収し、フラッシュメモリ事業を取得。本社はカリフォルニア州サンゼ、19年6月末の社員数は約61,800名。

注目ポイント

- **サンディスクを買収、フラッシュメモリ事業進出**: 16年5月に当時フラッシュメモリの大手で旧東芝メモリ(現キオクシア)と協業していたサンディスクを買収。フラッシュメモリを用いた新しい記憶装置SSD(ソリッドステートドライブ)分野を強化、HDDとSSDの統合型製品を提供できる同社の強みとなった。製品別売上構成(前期)はHDD53%、フラッシュメモリ47%。同買収後はSSDを含むフラッシュメモリ部門を強化中。
- **エッジコンピューティングや5Gスマホの市場成長の恩恵享受**: クラウド市場の拡大に加えて自動運転等で高まるエッジ(端末側)の処理需要の高まりや5G対応のスマホによるストレージ製品の市況改善に期待。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	43.51 ( 03/30 )
52週高値(日付)	72 ( 20/01/23 )
52週安値(日付)	27.41 ( 20/03/19 )
時価総額	130億ドル 1兆4,016億円
株価変化率(%)	-27.0 (過去6ヶ月間) -9.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	- (倍)
株価売上高比率	0.8 (倍)
PBR	1.4 (倍)
税前配当利回り(%)	4.60 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-11.8 (%)
株式ベータ	1.56 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/06	20,647	8	3,617	85	675	70	2.20	2.00
2019/06	16,569	-20	87	-98	-754	赤転	-2.58	2.00
四半期業績								
2019/Q2	4,233	—	176	—	-487	—	-1.68	0.50
2020/Q2	4,234	0	50	-72	-139	赤継	-0.47	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

外科手術ロボットを製造・販売。手術件数の伸びが日本など海外中心に伸長

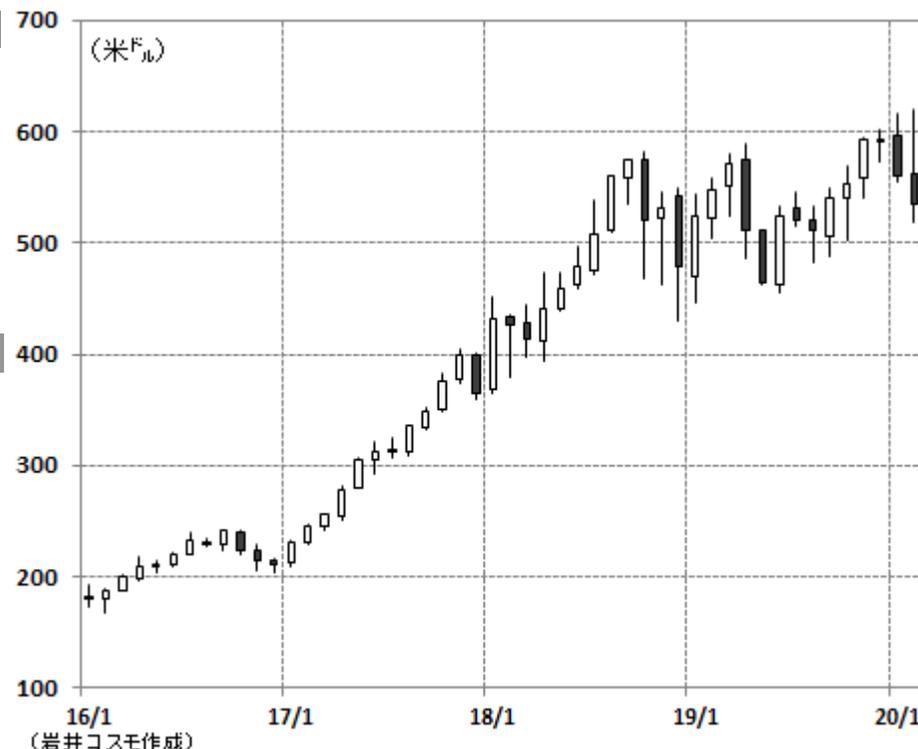
会社概要

「ダ・ヴィンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供するのが特徴。日本の病院でも同社ロボット手術が普及。19年末時点の稼働状況は、全世界で5,582台、うち米国3,531台、海外が2,051台。19年度全世界の手術件数実績は約123万件。日本は約350台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ヴィンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **手術件数と出荷台数の伸びが奏功**: 19年10-12月期の売上高が前年同期比22%増の12.8億ドル、純利益が同22%増の3.58億ドル。出荷台数は同16%増の336台を記録。売上成長の目安となる20年の「ダ・ヴィンチ」手術件数は前期比13~16%増の見通しを提示。



株価チャート (2016以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	504.22 ( 03/30 )	実績PER	45.6 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	619 ( 20/02/20 )	株価売上高比率	13.0 (倍)	2018/12	3,724	19	1,199	13	1,128	68	9.49	0.00
52週安値(日付)	360.5 ( 20/03/23 )	PBR	7.1 (倍)	2019/12	4,479	20	1,375	15	1,379	22	11.54	0.00
時価総額	585億ドル 6兆3,015億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	-6.6 (過去6ヶ月間) -11.6 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q4	1,047	—	332	—	293	—	2.45	0.00
		株主資本利益率(ROE)	18.5 (%)	2019/Q4	1,278	22	398	20	358	22	2.99	0.00
		株式ベータ	1.30 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

ビザ(V)

上場市場

ニューヨーク

セクター

決済サービス

クレジットカード決済サービス世界最大手。現金から電子決済への移行による恩恵を享受

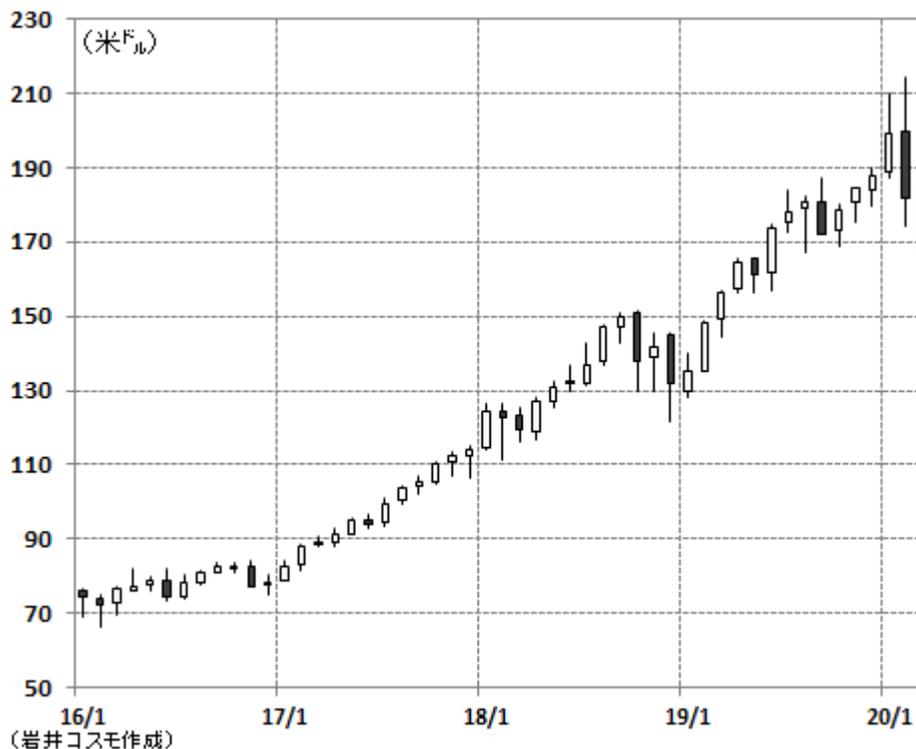
## 会社概要

クレジットカード決済サービス世界最大手。200カ国・地域で認証ネットワーク「ビザ・ネット」を展開。デビットカードやプリペイドカード、ATM決済サービスも手掛ける。カード総発行枚数は33.9億枚(19年9月末)。カードの決済サービスのみを行い、与信業務は銀行が行う仕組みであるため、事業リスクが比較的小さい。現金から電子決済への移行による恩恵を享受。NYダウ工業株平均構成銘柄。

## 注目ポイント

□**19年10-12月期は13%増収**：19年10-12月期は、前年同期比10%増収、純利益が同10%増益。収入の源泉となる総取引高は、主要国である米国で同7%増と堅実な伸び、欧州が同5%増、アジアが同3%増と続いた。為替変動を除く、20年9月通期の成長率見通しを営業収益で前期比「10%台前半の増加」とした上で、調整後1株利益を「10%台半ばの増加」としている。

□**1-3月期売上高見通しを引き下げ**：同社は3月2日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、1-3月期の売上高の伸びが従来示した予想よりも2.5~3.5%下回ると訂正。さらに3月30日には1桁台半ばの上限付近になると、2度目の下方修正をした。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	165.57 ( 03/30 )
52週高値(日付)	214.16 ( 20/02/19 )
52週安値(日付)	133.94 ( 20/03/23 )
時価総額	3,249億ドル 35兆0,147億円
株価変化率(%)	-3.7 (過去6ヶ月間) 6.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	30.0 (倍)
株価売上高比率	14.0 (倍)
PBR	10.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.72 (直近年率)
配当成長率(%)	19.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	42.4 (%)
株式ベータ	1.02 (対S&P500)

## 通期業績

決算期	営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/09	20,609	12	12,954	7	10,301	54	4.42	0.88
2019/09	22,977	11	15,001	16	12,080	17	5.32	1.05

## 四半期業績

四半期	営業収益 (百万ドル)	前同期比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同期比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同期比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q1	5,506	—	3,717	—	2,977	—	1.30	0.25
2020/Q1	6,054	10	4,016	8	3,272	10	1.46	0.30

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

**S&Pグローバル(SPGI)**

上場市場

ニューヨーク

セクター

情報サービス

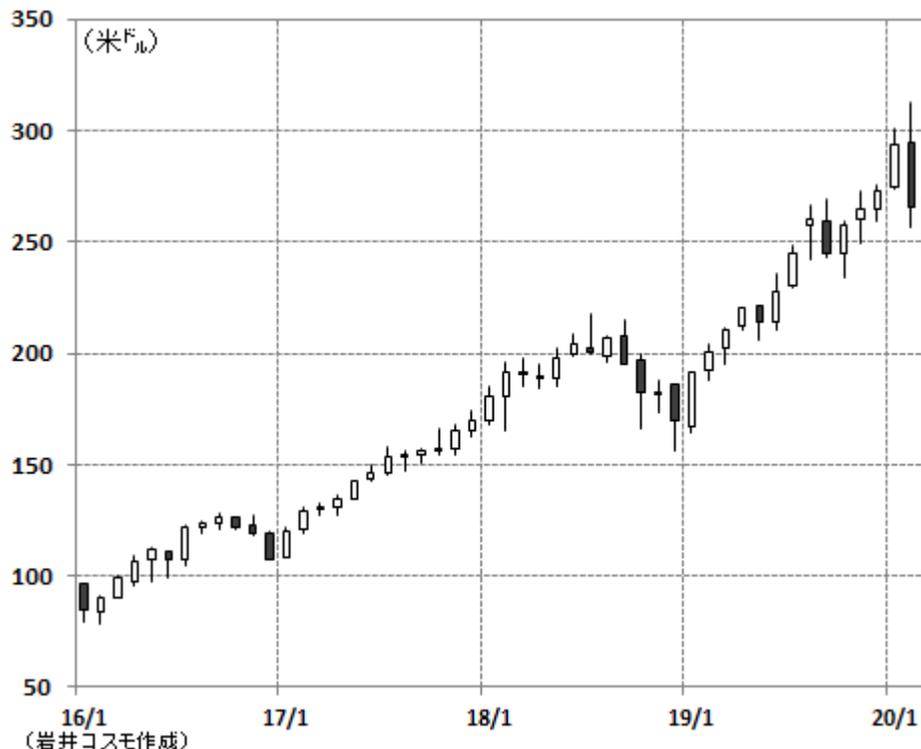
**金融情報サービス大手。高収益の債券格付け業務や株式指数管理サービスを提供**

## 会社概要

金融情報サービス大手。世界的な格付け会社「スタンダード・amp・プアーズ・レーティング」等を経営。祖業は出版社「マクロヒル」。1966年に金融情報のデータ分析サービスを手掛ける「スタンダード・amp・プアーズ」を買収。現在は、出版事業は切り離され、4つの部門（格付け、企業財務情報、指数提供、商品価格提供）からなる、情報サービス企業となっている。本社はニューヨーク、社員数は約21,000名（19年9月末時点）。

## 注目ポイント

- **安定した顧客基盤・高収益・排他的な競争環境**: 収益の約半分を占める債券の信用力を評価する「格付け業務」部門やNYダウ工業株平均やS&P500等の主要指数の管理を行う「指数提供業務」等、いずれの事業も参入障壁が高く、営業利益率は高水準。同銘柄は46年の連続増配実績を持ち、S&P500配当貴族指数に属す。
- **「ESG関連」事業を強化、恩恵享受**: 「ESG投資」が世界的に注目がされる中、関連事業を強化。格付け業務では環境分野への取り組みに特化した債券「グリーンボンド」の格付けや、発行体のESG項目の評価サービスを提供する。ほか企業情報サービス業務ではESGやSDGs(持続可能な開発目標)の点数化業務など広範囲に従事。



株価チャート (2016年以降・月足)

## 株価データ

株価(米ドル)	246.99 ( 03/30 )
52週高値(日付)	312.88 ( 20/02/19 )
52週安値(日付)	186.44 ( 20/03/18 )
時価総額	594億ドル 6兆4,063億円
株価変化率(%)	0.8 (過去6ヶ月間) 17.3 (過去1年間)

## 株価指標(バリュエーション)

実績PER	27.0 (倍)
株価売上高比率	9.0 (倍)
PBR	125.8 (倍)
税前配当利回り(%)	1.09 (直近年率)
配当成長率(%)	15.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	383.6 (%)
株式ベータ	1.02 (対S&P500)

## 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	6,258	3	2,790	8	1,958	31	7.73	2.00
2019/12	6,699	7	3,226	16	2,123	8	8.60	2.28

## 四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/Q4	1,536	—	704	—	512	—	2.03	0.50
2019/Q4	1,735	13	818	16	541	6	2.20	0.57

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

ロッキード・マーティン(LMT)

上場市場

ニューヨーク

セクター

防衛元請

## 防衛元請の世界最大手。海外向け輸出の増加期待

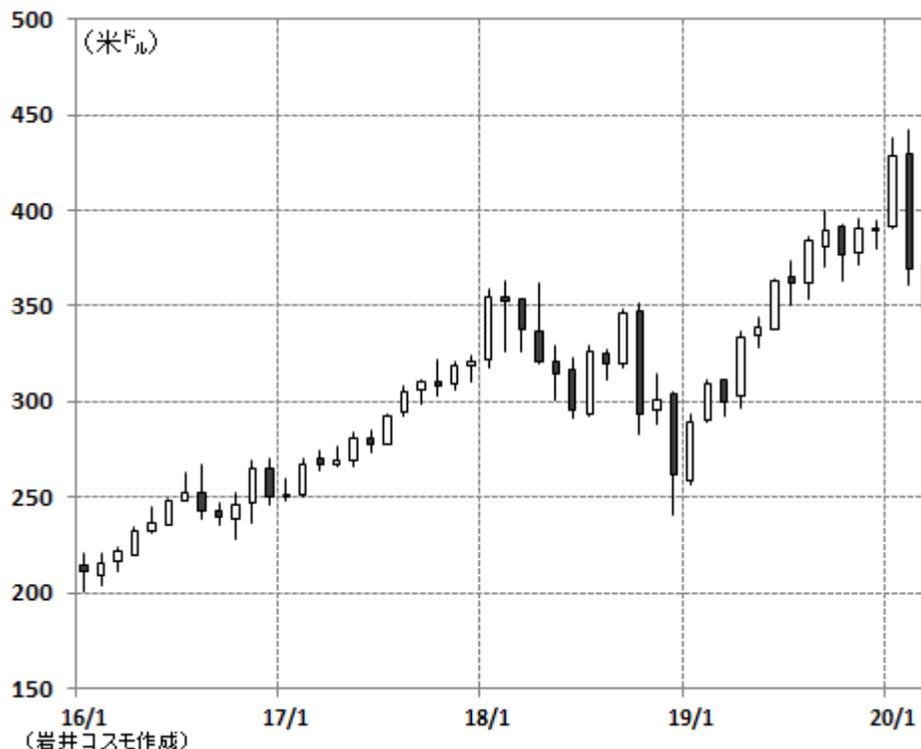
### 会社概要

世界最大の防衛元請企業。戦闘機が主力の「航空」部門、衛星や宇宙船を手掛ける「宇宙システム」、「情報システム」、「ミサイル・火器」、戦艦やヘリ搭載の武器やレーダーを製造する「ミッション・システム」の5つの部門からなる。15年11月にヘリ製造のシコルスキーを買収、16年8月に「情報システム」を分離。18年売上高構成の70%が米政府向け、外国政府向けを含む海外が28%、米民間向け・その他は2%。

### 注目ポイント

□ **次期主力戦闘機の量産化による成長期待**: 米・英・日で次期主力戦闘機となる「F-35ライトニング II」の主契約企業として量産化が進み、さらなる航空部門の拡大が期待される。1月28日発表の決算では20年度通期の売上高見通しを627.5~642.5億ドルとし、従来の620億ドルから上方修正した。

□ **米国防予算拡大、宇宙軍創設**: 19年12月に米議会は2020会計年度(10月1日から9月30日)の歳出法案を可決、国防総省向けは前年比220億ドル増の7,380億ドルとなった。またトランプ政権は宇宙軍を創設、宇宙空間の軍事利用を進める中国やロシアに対抗する。



株価チャート (2016年以降・月足)

### 株価データ

株価(米ドル)	348.85 ( 03/30 )
52週高値(日付)	442.43 ( 20/02/11 )
52週安値(日付)	266.58 ( 20/03/23 )
時価総額	983億ドル 10兆5,960億円
株価変化率(%)	-10.6 (過去6ヶ月間) 16.2 (過去1年間)

### 株価指標(バリュエーション)

実績PER	13.5 (倍)
株価売上高比率	1.6 (倍)
PBR	31.2 (倍)
税前提当利回り(%)	2.75 (直近年率)
配当成長率(%)	9.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	275.6 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	53,762	—	7,334	—	5,046	—	17.59	8.20
2019/12	59,812	11	8,545	17	6,230	23	21.95	9.00

### 四半期業績

2018/Q4	14,411	—	1,851	—	1,253	—	4.39	2.20
2019/Q4	15,878	10	2,149	16	1,498	20	5.29	2.40

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 岡安証券

社名 (ティッカー)

ネクステラ・エナジー(NEE)

上場市場

ニューヨーク

セクター

公益(電力・ガス)

## 風力などの環境配慮型の発電に特化する電力会社

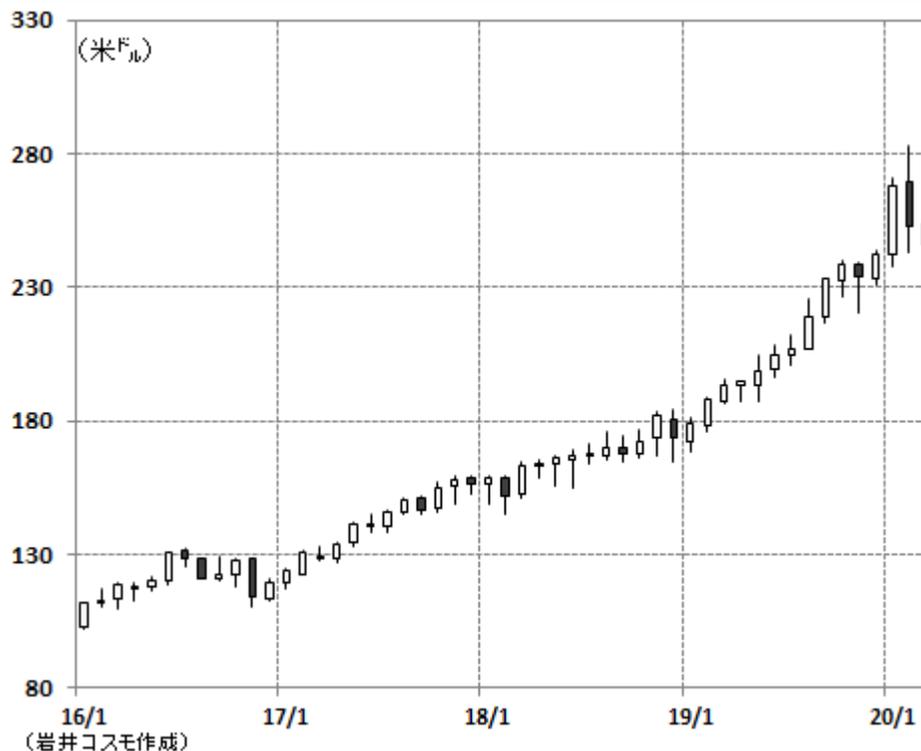
### 会社概要

再生可能エネルギー等の発電・販売を手掛ける持株会社。風力、太陽光、液化天然ガスによる環境負荷の小さい発電所を中心に運営し、子会社を通じて複数の原子力発電所も保有する。持株会社は主に、フロリダパワー&ライト(FPL)とネクステラ・エナジー・リソースズ(NEER)から構成される。持株会社のルーツであるFPLは1925年創業、1950年にNY市場に上場。2010年に持株会社「ネクステラ・エナジー」を設立。

### 注目ポイント

□**環境配慮型発電に特化**：売上高のおよそ3割を占めるNEERはより環境配慮型の発電に注力している。NEERの発電量の64%が風力発電、11%が太陽光発電と全発電量の4分の3が再生可能エネルギーに占められている。風力や太陽光発電の発電コストは年々低下してきており、経済合理性の観点からも注目を集めている。

□**ESG投資でも注目**：近年、環境配慮や企業統治の優れた企業に投資する「ESG投資」が活発化しており、これらの対応が重要視される。同社はS&PのESG評価でも、セクター最高の評価を受けるなど、機関投資家の評価も高く、今後も環境に配慮した取組みを続ける。



株価チャート (2016年以降・月足)

### 株価データ

株価(米ドル)	246.01 ( 03/30 )
52週高値(日付)	283.33 ( 20/02/18 )
52週安値(日付)	174.82 ( 20/03/23 )
時価総額	1,203億ドル 12兆9,625億円
株価変化率(%)	5.6 (過去6ヶ月間) 27.3 (過去1年間)

### 株価指標(バリュエーション)

実績PER	30.1 (倍)
株価売上高比率	6.2 (倍)
PBR	3.3 (倍)
税前提当利回り(%)	2.28 (直近年率)
配当成長率(%)	12.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	10.6 (%)
株式ベータ	0.90 (対S&P500)

### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	16,727	—	4,280	—	6,638	—	13.88	4.44
2019/12	19,204	15	5,353	25	3,769	-43	7.76	5.00

### 四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/Q4	4,390	—	1,107	—	422	—	0.88	1.11
2019/Q4	4,588	5	878	-21	975	131	1.99	1.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## 株式投資に関するご留意事項

### ◆手数料等について

#### ■国内株式

- 国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。  
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

#### ■外国株式

- 国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- 現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- 「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

#### ■新規公開株式

- 新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

### ◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

※信用取引を行う場合は、委託保証金を担保として差し入れていただきます。委託保証金は、売買代金の30%以上で、かつ100万円以上が必要です。  
また、信用取引を行う場合は、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がお客様の差し入れた委託保証金の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。